

# 建 築 家

# 通 信

2016.7.31  
vol.110

公益社団法人日本建築家協会 関東甲信越支部 長野地域会  
JIA長野県クラブ

<http://www.jia-nagano.com>  
E-mail [info@jia-nagano.com](mailto:info@jia-nagano.com)

## 熊本地震報告 ～嘉島町2次調査に参加して～ JIA長野県クラブ代表 山口 康憲



全壊の住宅



二次調査の内部調査の様子



調査後の打ち合わせ

4月14日と16日に最大震度7を記録し、約1ヶ月に渡って強い余震が続いた熊本地震は阪神淡路大震災に匹敵するような大きな被害をもたらしました。被災家屋は3万棟を超え、全壊家屋は3千棟近くにのぼります。

JIAは4月15日に本部に災害対策本部を設置し、現地対策本部が置かれた九州支部への全面的な支援体制を敷きました。JIA長野県クラブでは4月22日に開催された通常総会において九州支部への義援金拠出の賛同を得て、27日に10万円を送金をさせていただきました。

九州支部では応急危険度判定士の有資格者が少なく、行政からの初動の支援要請はなかったようですが、5月以降南阿蘇村と熊本市で住宅相談を行うと共に、嘉島町より5月30日から約600棟の罹災証明発行のための2次調査の依頼がありました。ご存知のように、平成25年に改訂された内閣府の住家被害認定基準に則った2次調査は、全国でも一昨年の長野県神城断層地震に於ける我々の活動だけであり、未経験の九州支部の会員のためには当会こそが初日から支援に入るべきとの判断を下し、関東甲信越支部の支援という立場で丸山監査役と新潟地域会から霜島さんにご賛同いただき、私も含めた3名で6月1日までの3日間2次調査を行ってきました。それに先立つ29日には福岡の九州支部事務局において2次調査のレクチャーも行いました。

嘉島町では広域行政支援で静岡県と福島県から、地元の熊本県も合わせ総勢30名ほどで様々な支援を行っていました。震災直後のかなり早い時期から全国都道府県の危機管理部と市町村も含めた税務を中心とした職員の構成で熊本県下の市町村に支援に入っていたようで、これからの大規模災害の貴重なモデルケースになると思います。一方で最も被害の大きかった益城町では、現在(7月中旬)でも2次調査予定の全3,000棟の半分しか調査が終わっていないという状況もあり、被災規模に応じた2次調査の簡略化も検討の余地がありそうです。

嘉島町の2次調査は3班体制で、行政の職員だけですでに100棟以上調査が行われていました。皆さん非常に熱心で認定基準にも精通され、町独自の基準に則って行われていたので、我々のミッションはそれに合わせた上で技術的・専門的な考えを加味し、アドバイスし判定を行うという

ことと、参加した未経験の九州支部の皆さんに翌週からの判定活動の訓練をしていただくことでした。最終日の1日には東北支部からの支援チームが合流し基準の擦り合わせを行いました。行政の皆さんは非常に優秀な方々でしたが、専門的な知見から見るとチグハグなところもあり、初めから参加していればもう少し精度の高い判定ができたのではないかと悔やまれました。木造の住家調査は今年8日に終了しました。

2日は町と判定チームに挨拶をした後、益城町の状況を確認し、帰路に着きましたが、最後に短い期間ではありましたが自分の目で確認した熊本地震の被災状況から学ぶべきことを述べます。

どの地震でも同じですが、まずは地盤による被害が一番大きいのではないかと。次に、熊本は瓦葺きの古い家屋が多いのですが、地盤の影響を除けば、壊れるのにはそれなりの理由があるということです。新耐震以前の家屋に被害が大きいのはもちろんですが、新耐震以降でも2008年以前と以降にもかなり差があるような印象を受けました。更に付け加えると、現在の基準で建てられたものの中にも被害があるようですが、震度7が2回来たということ以外にも被災した原因があるのではないかと。4号建築物の確認の特例の見直しの時期に来ているのかもしれないと感じました。

熊本は災害のない県という触れ込みで企業誘致を行っていたと聞きましたが、日本全国災害がない場所はないということではないでしょうか。現在確認されている活断層は全国で2,000カ所以上と言われていますが、実際にはその倍の4,000カ所あるという説もあります。長野県には全国有数の活断層である糸魚川静岡構造線があります。今回の熊本地震の反省を踏まえ、同規模の地震は必ず来るとの認識の上に、体制作りと事前の準備をすぐにも始める必要があると感じています。



今から約二十数年前頃からオゾン層破壊が叫ばれ出し、地球環境問題が身近な問題として認識された。その後、日本各地で起こった地震や原発事故では、住宅は家族やコミュニティを醸成する最も基本的な社会資産であることを再認識させられた。一方、住まいの省エネ法等は国が先導している感も少なからずあった事や、断熱や省エネ機器等は建材メーカー主導の営業トークに振り回されて、心ある設計者でもいろいろなやり方を試行錯誤してきたのが現実でした。現在では国の方針でもある2030年ゼロエネルギー住宅を目指して、全国的にも様々な考え方で技術開発が進んでいる。が、〇〇協会に入会したりとか、囲い込みやフランチャイズ等を目の当たりにすると、性能追求も住宅の営業戦略の一つになりかねない危惧を感じている。

住宅設計を生業としている設計者は総合的な住まいの温熱設計技術を身に付け、その上で文化や伝統、風土性と共に、芸術性まで高め

た、生活空間の提案をしていく事が本来の姿ではなかろうかと今回の信州“準寒冷地温熱教室2016”を企画しました。

塩尻総合文化センターで6月18日に始めた全6回のセミナーですが、指導者はこの分野の指導では定評のある 辻充孝氏(岐阜県立森林文化アカデミー准教授)をお招きし、広く一般にも呼び掛けた所、75名の参加を頂いています。

今回のセミナーを肥やしにして、身近な環境と景観を基本とした住まいが、魅力ある生活と信州らしさを創造していく事を期待します。



JIA長野県クラブの公式サイトをリニューアル公開

広報委員会ホームページ担当 林 隆



JIA長野県クラブの公式サイトを8月1日にリニューアル公開いたしました。この会は、正会員(建築家)、ジュニア会員(建築家を目指す者)、協力会員(建築をつくる専門家)によって構成されていることを前面に打ち出しながら、日々楽しい情報がそこにあり訪問してみたい「生きているサイト」へと発展していくことを目指しています。社会への情報発信、会員にとっての利便性、会の活動や魅力のアピール、長野県の建築家を探せる情報の充実などをイメージし、更には志を共にする仲間が増える夢を描きながらの製作でした。

具体的なコンテンツとしては、①トップ写真にはJIA会員建築家

の設計実例を募り掲載し定期的に更新していきます。②カレンダー機能を導入して幹事会や各委員会、イベント、会員情報などの詳細と連携させています。具体的には正会員・協力会員から見学会やセミナー、展覧会や展示会などの情報もぜひお寄せいただきここに掲載し、市民との情報共有をしていければと思います。③過去の活動記録としての資料をストックしています。1987年の県クラブ設立以来の歴史の重みを改めて感じました。読み物としてもご活用ください。④事務局ブログをはじめました。お知らせ・ご報告・会員からの情報・ほっと一息コーナーなどタイムリーに発信していきます。⑤青い手帳の情報はすべて掲載しスマホ対応もしています。

今回のホームページリニューアルは、山口代表より新年度事業のひとつとして掲げられ広報委員会が取り組んで参りました。その間、膨大な資料の収集整理やデータ化などはすべて事務局佐藤さんが担ってこられました。そして今後の日々の更新も事務局が携わっていきます。

ここに公開となりましたが、3年後5年後を見据えての骨格作りを終えた段階と捉えております。これからは正会員・準会員・協力会員の皆様と事務局との連携によって、このサイトが大きく育っていくことを願っております。新たな試みや改善点の提案そして情報提供など大歓迎ですので、ぜひご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

JIA長野県クラブ 公式サイト <http://www.jia-nagano.com>

新入会員紹介

正会員

- 山下 和希さん アトリエ・アースワーク (安曇野市)
- 山口 満さん (株)山口設計事務所 (長野市)
- 鎌田賢太郎さん 鎌田建築設計室 (佐久市)

準会員(ジュニア会員)

- 小林 千恵さん news設計室 (松本市)

法人協力会員

- 株式会社中部測地研究所 藤森徳雄さん(担当) (諏訪市)

祝受賞・表彰

平成28年度 長野県建築士事務所協会建築作品賞

- 最優秀賞 山の子保育園 野口 大介/野口大介建築設計室  
藤松 幹雄/藤松建築設計室  
荒井 洋/HAL設計室
- 優秀賞 松本市文書館 児野 登/(株)アーキティアック
- 優秀賞 東御市 和保育園 宮本 仁夫/(株)宮本忠長建築設計事務所

第11回 木の建築賞

- 木の建築大賞、やま・もり再生賞  
「ねばねの里」なごみ 松下 重雄/(有)みすゞ設計

開催したイベント

- 4月22日(金)・・・2016年度通常総会
- 6月10日(金)～12日(日)・・・JIA支部大会 2016 群馬
- 6月18日(土)・・・信州“準寒冷地温熱教室 2016”第1回
- 6月25日(土)・・・香山壽夫先生と語る会
- 7月16日(土)・・・信州“準寒冷地温熱教室 2016”第2回
- 7月30日(土)・・・夏のセミナー

今後の行事予定

- 8月6日(土)・・・信州“準寒冷地温熱教室 2016”第3回
- 9月3日(土)・・・信州“準寒冷地温熱教室 2016”第4回
- 10月27日(木)～29日(土)・・・JIA 建築家大会 2016 大阪

編集後記

今期、JIA長野県クラブ広報委員会、会報「建築家通信」の編集担当をさせていただくことになりました。力不足は重々承知の上、皆様に助けて頂きながら、公益社団法人としてJIA会員以外の方にも読みやすい会報を作っていきたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。なお、本号より紙面縮小となり、表裏の2面になりますが、リニューアルした公式サイトにたくさんの情報が、とても見やすく掲載されております。重ねてよろしくお願い申し上げます。……………百瀬万里子 皆様からの投稿をお待ちしております。誌面へのご意見もお寄せ下さい。



編集人/百瀬 万里子 発行人/山口 康憲  
発行所/JIA長野県クラブ  
長野市南長野妻科426-1 長野県建築士会館内  
TEL: 026-232-3897 FAX: 026-232-5303  
<http://www.jia-nagano.com>  
E-mail [info@jia-nagano.com](mailto:info@jia-nagano.com)